

永平寺門前エリア：般若心経一文字

永平寺への参拝者は、柏樹關の隣にある志比区公民館で平日に行われるユニークな一文字の写経体験に参加することがでる。各参加者は、仏教の「無」を教える般若心経の 266 文字のうちの 1 つを写経する。般若心経全文が写経されると、永平寺に寄贈され、「納経塔」と呼ばれる經典の特別な建物に保管される。

お経を手書きで写す行為は写経と呼ばれる。最も古い歴史的な記載は、日本の年代記である日本書紀に、673 年に宮廷が奈良の寺院に写経を要求したことが記録されている。写経は、特定の願いが叶うための祈りでもあったと考えられていたが、仏教の精神的修行であり、仏教の教えを広める意味を有していた。

般若心経は日本で、最も短く、最も広く知られているお経の一つであり、写経によく使用されている。般若心経の一文字を心をこめて写すことは、写経の入門に最適である。更に完成後には、参加者全員に記念の写経が贈呈される。写経は通常月曜日から金曜日の午後 2 時から 3 時までの間で、参加費用は 2200 円である。一文字写経の希望者は永平寺門前にある観光協会（大関さん）に連絡して事前に予約する必要がある。（0776-63-3131）